



第23回日本産婦人科乳腺医学会 ご挨拶

第23回日本産婦人科乳腺医学会が、平成29年3月5日（日）に東京・御茶ノ水ソラシティカンファレンスセンターで、東京歯科大学市川総合病院産婦人科の高松潔教授のお世話で開催されます。今回のメインテーマは「産婦人科医も知っておきたい乳腺疾患診療のニュートレンド」と題して、魅力的なプログラムをご準備いただいています。高松会長のご専門は婦人科腫瘍と女性医学であり、今回の産婦人科乳腺医学会を担当されるのに真に相応しい上に、女性ヘルスケアや乳がんに関する造詣が深く、またアイデアマンですので、とても素晴らしい学術集会になると期待しています。とても有意義な1日になるものと期待をしております。

さて、乳がんが日本女性が罹患するがんの第一位になっています。統計ではすでに罹患者数は年間10万人を超え、女性の15名に1名が一生の間に乳がんになると推計されるようになりました。そのため、有名人が乳がんになったことを告白する機会が増え、そのたびにテレビのワイドショーが大騒ぎするので、乳がん検診を希望する女性が急増します。検診の意識が高まることは良いことですが、検診実施率はまだまだ伸びていません。女性ヘルスケアを考えると、乳がんや乳腺疾患への対応なくして進まないと考えます。2013年度から4年にわたり、日本産科婦人科学会内の女性ヘルスケア委員会（高松潔委員長）に「産婦人科における乳腺診療のあり方に関する小委員会」が設置され、産婦人科医のための乳腺領域の疾患へのアプローチの枠組みを作ってきました。今回の学術集会では、その成果をシンポジウムで発表する機会を会長が作ってくれました。患者の期待に応える産婦人科の職責の中に、乳腺疾患の診療体制を確立して参りたいと思いますが、この産婦人科乳腺医学会がその中心でありたいと思います。そして、乳がん検診を核により広い乳腺疾患の管理に展開することを願っています。

最後になりましたが、学術集会の準備にあたられた高松会長はじめ東京歯科大学市川総合病院産婦人科の関係者の皆様に厚く御礼を申し上げますとともに、第23回学術集会が成功裏に終了することを祈念し、ご挨拶とさせていただきます。

一般社団法人日本産婦人科乳腺医学会
(徳島大学大学院産科婦人科学分野)

理事長 苛原 稔



第23回日本産婦人科乳腺医学会 開催のご挨拶

このたび、第23回日本産婦人科乳腺医学会を平成29(2017)年3月5日(日)に東京 御茶ノ水にありますソラシティカンファレンスセンターで開催させていただくことになりました。伝統ある本学会を担当させていただくことをたいへん光栄に思っております。このような機会を与えていただきました学会員の先生方に心より御礼を申し上げますとともに、小さな医局ではありますが、精一杯有意義なものとするべく努力する所存です。

近年、乳腺疾患の予防・治療・管理にはパラダイムシフトが起こっています。アンジェリーナ・ジョリーの予防的乳房切除術をきっかけに、改めて遺伝性乳がんが注目されると同時に、有名タレントなどの乳がん罹患とその闘病が大きくマスコミに取り上げられ、乳腺疾患への注目度が上がっています。従来、日本においては乳がんを含めた乳腺疾患は外科で扱うとされてきました。私たち産婦人科医は分娩後の乳腺管理すら助産師さんまかせのところがあったように思います。近年の本学会の活動もあり、産婦人科医もかなり乳腺疾患に興味をもって来るようになりましたが、より積極的に乳腺管理をしなければいけないことは自明です。しかし、一方で、様々な新しい手技や情報に追いついていくことはなかなか難しいことでもあります。

そこで今回のテーマを「産婦人科医も知っておきたい乳腺疾患診療のニュートレンド」として、この分野における最近の新たな知見を学んでみたいと思っております。日本人における乳がんの疫学の最新情報、BRCA遺伝子変異検査時におけるカウンセリングの実際、また、ホルモン補充療法施行時の乳がん検診の注意点、さらには乳房再建術の実際についてもご講演いただく予定です。日本産婦人科医会共催の研修セミナーでは改めて超音波診断についてそのコツや注意点などについて勉強してみたいと考えております。明日からの診療に直結するようなお話しが伺えると思えます。

女性のヘルスケアという観点から、産婦人科医にはライフステージに応じた乳房管理や乳がん検診の技術の習得、業務への従事が要求されていますが、この目的のために、本学会の苛原理事長を中心に、日本産科婦人科学会女性ヘルスケア委員会内の産婦人科における乳房管理のあり方に関する小委員会が現在、「産婦人科医のための乳房管理マニュアル(仮称)」を策定中です。そこで、本マニュアルの内容についてご紹介いただき、議論していただくワークショップも企画いたしました。

一般演題も7題の応募をいただきました。ありがとうございます。貴重な症例やデータのご発表を楽しみにしております。

当日はまだまだ寒い時期かとは思いますが、多くの先生方のご参加とホットな討論を期待しております。宜しくお願いいたします。

第23回日本産婦人科乳腺医学会
(東京歯科大学市川総合病院産婦人科 教授)
会長 高松 潔

参加者の皆様へ

I. 受付・参加費

受付は当日登録・現金受付のみです。参加費と引き換えに領収書兼用の参加章（名札）をお渡しします。参加章に所属・氏名をご記入の上、会場では必ずご着用ください。

1. 受付時間：3月5日（日）8：30～16：00
2. 受付場所：ソラシティカンファレンスセンター 2階
3. 参加費：会員 ……………6,000円
非会員 ……………8,000円
医師以外 ……………4,000円
初期研修医・学部学生 ……………無料（受付にて必ず学生証をご提示ください）

II. プログラム抄録集

当日、受付にて1部お渡しいたします。
追加で必要の場合には、別途ご購入ください（1部2,000円）。

III. 日本産科婦人科学会専門医制度研修出席証明・日本産婦人科医会研修参加証

各窓口にて受付を行います。

- (1) 日本産科婦人科学会会員の方は、研修出席証明の単位が付与されます。（e医学会カード受付）
*e医学会カード（UMINカード）を忘れずにお持ちください。



- (2) 日本産婦人科医会会員の方は、研修参加証（1日1枚）が発行されます。

IV. 日本専門医機構 単位付与講習

機構専門医の認定講習は、各講習会場で対象セッション開始の10分前から講習参加受付を開始します。開始時間10分を過ぎた場合、聴講は可能ですが、機構専門医単位付与はされません。ご了承ください。

【産婦人科領域講習について】

- ・e医学会カード（日本産科婦人科学会発行）で参加登録を行います。
- ・ご出席の先生はご自身の責任でe医学会カードで参加登録を行ってください。各講習会場でe医学会カードのバーコードを読み取ることで参加登録を行います。

※日本産科婦人科学会会員でe医学会カードを紛失等でお持ちでない方
運転免許証等でご本人確認の上、登録確認を行います。

座長・演者の皆様へ

座長の皆様へ

担当セッションの開始 10 分前に、会場内前方の「次座長席」にご着席ください。

担当セッションの進行は、時間内に終了するよう、円滑な運営にご協力をお願いいたします。

演者の皆様へ

I. 発表方法

- (1) 発表形式は PC 発表です。
スライドやビデオは使用できませんので、ご注意ください。
- (2) 会場へは、1. USB メモリ、2. CD-R、3. パソコン本体、以上 1~3 のうち、いずれかの形で発表データをお持ち込みください。
- (3) 講演開始 30 分前迄に PC 受付にて発表データの試写と受付を済ませてください。
PC 持ち込みの方も、30 分前迄に PC 受付へお越しください。
- (4) PowerPoint の「発表者ツール」機能は使用できません。
- (5) PC 受付のパソコンは台数が限られております。
受付パソコンを独占しての長時間のデータ修正はご遠慮願います。
学会場ではレイアウト修正のみとし、データ修正等は事前に済ませてから学会場へお越しください。

★ご発表 10 分前には、会場内前方の「次演者席」に着席し、待機してください。

<発表時間>

一般演題 発表 5 分、討論 2 分（計 7 分）

時間厳守にご協力ください。

II. 発表データをお持ち込みの方へ

■ USB メモリ、または CD-R (RW 不可) をお持ち込みの方への注意事項

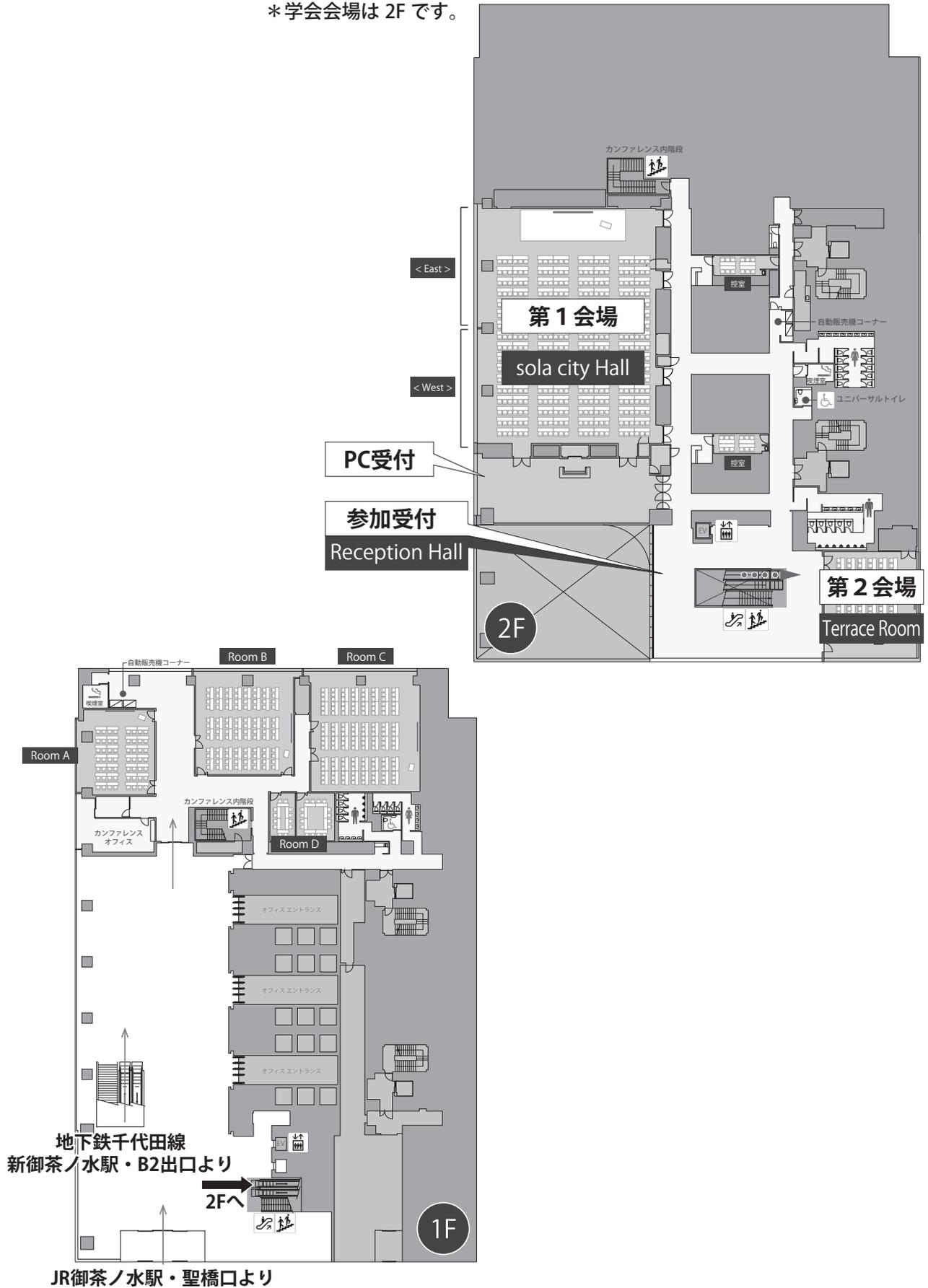
- (1) ソフトは、以下のものをご使用ください。
Windows 版 PowerPoint 2007/2010/2013/2016
※Macintosh をご使用の方は、PC をお持ち込みください。
※動画ファイルをご使用の方は、PC をお持ち込みください。
- (2) フォントは OS 標準のもののみご使用ください。
- (3) 画面の解像度は、XGA (1024×768) をお願いいたします。
- (4) CD-R (RW 不可) への書き込みは、ISO9660 方式をお使いくください。
※パケット方式ですと、会場 PC で読み込めない恐れがあります。

■ ノート PC をお持ち込みの方への注意事項

- (1) バックアップとして、必ずメディアもご持参ください。
- (2) 画面の解像度は、XGA (1024×768) をお願いいたします。
- (3) PC 受付の液晶モニターに接続し、映像の出力チェックを行ってください。
※PC の機種や OS によって、出力設定方法が異なります。
- (4) プロジェクターとの接続ケーブル端子は、ミニ Dsub15 ピンです。
PC によっては専用のコネクタが必要になりますので、必ずお持ちください。
※特に VAIO、MacBook 等小型 PC は、別途付属コネクタが必要な場合がありますので、くれぐれもご注意ください。
- (5) スクリーンセーバー、省電力設定は事前に解除願います。
- (6) コンセント用電源アダプタを必ずご持参ください。
※内蔵バッテリー駆動ですと、ご発表中に映像が切れる恐れがあります。

会場案内図

* 学会会場は 2F です。



日 程 表

第 1 会場 (2 階 sola city Hall)	第 2 会場 (2 階 Terrace Room)
8:30~ 参加受付開始	
8:55~9:00 開会の辞 会長：高松 潔 (東京歯科大学市川総合病院産婦人科)	
9:00~10:00 日本産婦人科医会合同研修セミナー (超音波セミナー) [P] 「JABTS の考え方とは異なる当院の乳腺超音波検査法」 座長：大村 峯夫 (こころとからだの元気プラザ婦人科) 演者：武部 晃司 (たけべ乳腺外科クリニック)	
10:00~10:40 教育講演 I 「乳がんの疫学の最新知識」 座長：岡本 愛光 (東京慈恵会医科大学産婦人科) 演者：岩崎 基 (国立がん研究センター社会と健康研究センター疫学研究部)	10:00~16:10 マンモグラフィ症例揭示
10:40~11:20 教育講演 II 「遺伝学的検査における遺伝カウンセリングの実際」 座長：宮城 悦子 (横浜市立大学産婦人科) 演者：新井 正美 (がん研有明病院遺伝子診療部)	
11:20~12:09 一般演題 1~7 座長：杉山 重里 (東京歯科大学市川総合病院産婦人科)	
12:20~13:20 ランチョンセミナー 「乳房用超音波画像診断装置 InveniaABUS を用いた医療連携」 座長：寺本 勝寛 (山梨県立中央病院産婦人科) 演者：櫻井 健一 (日本大学医学部外科学系乳腺内分泌外科分野) 共催：GE ヘルスケア・ジャパン株式会社	
13:20~13:40 総会	13:20~ 模範回答揭示
13:40~14:10 教育講演 III 「HRT 中の乳房検診」 座長：大道 正英 (大阪医科大学産婦人科学教室) 演者：藤野 敬史 (手稲溪仁会病院産婦人科)	
14:10~14:40 教育講演 IV 「乳房再建術の実際—人工物、自家組織移植による—」 座長：古谷 健一 (防衛医科大学校産科婦人科学講座) 演者：田中 一郎 (東京歯科大学市川総合病院形成外科)	
14:40~16:10 ワークショップ [P] 「産婦人科医のための乳癌検診のトピックス ～女性ヘルスケア専門委員会からのメッセージ～」 座長：苛原 稔 (徳島大学大学院産科婦人科学分野) 佐伯 俊昭 (埼玉医科大学国際医療センター乳腺腫瘍科) 演者：鎌田 正晴 (公立学校共済組合四国中央病院) 苛原 稔 (徳島大学大学院産科婦人科学分野) 土橋 一慶 (千川産婦人科医院) 佐伯 俊昭 (埼玉医科大学国際医療センター乳腺腫瘍科)	
16:10~16:15 次期会長挨拶・閉会の辞 次期会長：加藤 聖子 (九州大学産婦人科)	

[P]日本専門医機構受講証明対象セッション

プログラム

第1会場（2階 sola city Hall）

開会の辞 8：55～9：00

会長：高松 潔（東京歯科大学市川総合病院産婦人科）

日本産婦人科医会合同研修セミナー（超音波セミナー） 9：00～10：00

座長：大村 峯夫（こころとからだの元気プラザ婦人科）

「JABTS の考え方とは異なる当院の乳腺超音波検査法」

演者：武部 晃司
たけべ乳腺外科クリニック

教育講演 I 10：00～10：40

座長：岡本 愛光（東京慈恵会医科大学産婦人科）

「乳がんの疫学の最新知識」

演者：岩崎 基
国立がん研究センター社会と健康研究センター疫学研究部

教育講演 II 10：40～11：20

座長：宮城 悦子（横浜市立大学産婦人科）

「遺伝学的検査における遺伝カウンセリングの実際」

演者：新井 正美
がん研有明病院遺伝子診療部

一般演題 11：20～12：09

座長：杉山 重里（東京歯科大学市川総合病院産婦人科）

- 1 当院を受診した授乳期乳腺炎症例の検討**
産婦人科マチダクリニック 町田 稔文
- 2 早期からエラストグラフィで硬い腫瘍が疑われたトリプルネガティブ乳癌の2例**
公立学校共済組合四国中央病院健康管理科 濱田 信一
- 3 線維腺腫と子宮筋腫の併発について**
井上レディースクリニック 竹田奈保子
- 4 ラロキシフェン使用中に発見された5例の乳癌症例**
和田産婦人科医院 和田 博司
- 5 当センターにおける乳癌患者のための女性ヘルスケア外来の取り組み**
横浜市立大学附属市民総合医療センター婦人科 粒来 拓

6 X軸固定 FNAC 法 穿刺吸引細胞診 (FNAC) 手技の習得を目指して
坂井市立三国病院産婦人科 加藤 栄一

7 産婦人科医が行った FNAC604 例、CNB234 例の精度の検討
坂井市立三国病院産婦人科 加藤 栄一

ランチョンセミナー 12:20~13:20

座長: 寺本 勝寛 (山梨県立中央病院産婦人科)

「乳房用超音波画像診断装置 InveniaABUS を用いた医療連携」

演者: 櫻井 健一

日本大学医学部外科学系乳腺内分泌外科分野

共催: GE ヘルスケア・ジャパン株式会社

総会 13:20~13:40

教育講演Ⅲ 13:40~14:10

座長: 大道 正英 (大阪医科大学産婦人科学教室)

「HRT 中の乳房検診」

演者: 藤野 敬史

手稲溪仁会病院産婦人科

教育講演Ⅳ 14:10~14:40

座長: 古谷 健一 (防衛医科大学校産科婦人科学講座)

「乳房再建術の実際—人工物、自家組織移植による—」

演者: 田中 一郎

東京歯科大学市川総合病院形成外科

ワークショップ: 「産婦人科医のための乳癌検診のトピックス
~女性ヘルスケア専門委員会からのメッセージ~

14:40~16:10

座長: 苛原 稔 (徳島大学大学院産科婦人科学分野)

佐伯 俊昭 (埼玉医科大学国際医療センター乳腺腫瘍科)

1 産婦人科医が乳癌検診をするために—マンモグラフィ、超音波および総合判定—

公立学校共済組合四国中央病院 鎌田 正晴

2 産婦人科における乳房管理のあり方について

徳島大学大学院産科婦人科学分野 苛原 稔

3 妊娠、産褥現象と乳腺疾患

千川産婦人科医院 土橋 一慶

4 日本の乳癌検診は誰が責任を持つのか

埼玉医科大学国際医療センター乳腺腫瘍科 佐伯 俊昭

次期会長挨拶・閉会の辞 16:10～16:15

次期会長：加藤 聖子（九州大学産婦人科）

第2会場（2階 Terrace Room）

マンモグラフィ症例掲示 10:00～16:10

模範回答掲示 13:20～
